

現代の経済

国際経済の歩み

9 国際経済の歩みに関して、次の対話文を読み、あとの各問いに答えよ。

教授：第二次世界大戦後の国際経済の歩みについて、日本経済とも関連させながら、そのポイントを高校生にわかりやすく説明してください。まずはA君から。

学生A：第二次世界大戦後の国際経済体制は、1944年の(1)によって、IMF（国際通貨基金）とIBRD（国際復興開発銀行、世界銀行）が発足したことに始まります。

学生B：その後1948年には、世界の自由貿易の推進をはかることを目的としてGATT（関税および貿易に関する一般協定）が発足しました。

学生C：このIMFとGATTによる国際経済の基本システムを、IMF=GATT体制といいます。戦後の日本経済は、このIMF=GATT体制のもとで高度経済成長や国際化を実現させてきました。

学生A：IMFはアメリカのドルを基軸通貨と定めるとともに、(2)制を採用しました。しかし、1970年代初めにはアメリカの国際収支の大幅な悪化に伴って、外国為替市場のシステムは大きく変わり、IMF体制は事実上崩壊しました。そして1980年代に入ると、日本からの輸出が増大するようになり、欧米諸国との間に激しい貿易摩擦が起きました。

学生B：また1980年代のアメリカでは、供給サイド重視の立場から、いわゆるレーガノミックスと呼ばれるアンチ=ケインズ政策が実施されました。しかし結局は、財政と経常収支の赤字である(3)をもたらし、アメリカ経済は低迷しました。

学生A：そのようなアメリカの経済情勢に対して先進諸国は協調政策をとり、1985年9月にはG5による **A** 合意が成立し、短期間に急激なドル安・円高が進行しました。

学生B：一方、GATTはたび重なる多角的貿易交渉（ラウンド）を通して、関税の引き下げや非関税障壁の撤廃などを行ってきました。そして1995年には、GATTはより幅広い機能を備えたWTO（世界貿易機関）へと生まれ変わりました。近年、日本の貿易相手国としてその総額においてアメリカを抜いた(4)も、2001年にWTOに加盟しました。

教授：冷戦終結後の1990年代に入って、経済のグローバル化が進展する国際経済のもとで、各国経済は相互に結びつきを強めていますが、その点についてはどうですか。

学生C：グローバリズムが進む一方で、リージョナリズム、つまり地域的経済統合の動きも活発です。例えば、1993年にはマーストリヒト条約に基づいて **B** が成立しました。また、北米、南米、東南アジアなどでも、特定の国・地域間で貿易規制をなくす(5)の締結が進んでいます。近年、日本も積極的に交渉を進めています。

学生A：しかし、世界全体をながめてみると、いわゆる南北問題は依然として解決されていません。また、途上国における産油国・NIES諸国と非産油国間の経済格差である南南問題も深刻です。

学生B：その南南問題については、有力な資源もなく、国民1人当りの所得も低く、工業化

が著しく遅れている 途上国 (LDC) の問題が指摘されています。

教授：グローバル経済の進展に伴って、さまざまな問題が生じるようになりました。今後の国際経済は、競争から共存・共生の時代への模索が一層求められているようです。わが国も、そのためには何ができるか、何をなすべきかを真剣に考えていく必要がありますね。

問1 空欄 ~ に該当する最も適切な語句を、 はカタカナで、 はアルファベット (大文字) で、 は漢字4字で記せ。

問2 空欄(1)~(5)に該当する最も適切な語句・国名を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. スミソニアン協定 イ. 双子の赤字 ウ. ODA エ. ロシア
オ. 通貨危機 カ. ブレトンウッズ協定 キ. 変動為替相場 ク. インド
ケ. 二重為替相場 コ. キングストン協定 サ. 自由貿易協定 シ. EMS
ス. ニクソン=ショック セ. 固定為替相場 ソ. 巨大赤字 タ. 中国
チ. ルーブル合意 ツ. キーカレンシー テ. SDR ト. オーストラリア

問3 下線部①に関して、外国為替市場における円・ドルのレートについての記述として最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 日本の物価が上昇すると、円高・ドル安が進行する。
イ. 日本の国際収支の黒字が拡大すると、円安・ドル高が進行する。
ウ. アメリカの国際収支の赤字が拡大すると、円高・ドル安が進行する。
エ. アメリカの金利が低下すると、円安・ドル高が進行する。

問4 下線部②に関して、それらのラウンドが行われた順序として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. ケネディ=ラウンド→ウルグアイ=ラウンド→東京ラウンド
イ. ケネディ=ラウンド→東京ラウンド→ウルグアイ=ラウンド
ウ. 東京ラウンド→ケネディ=ラウンド→ウルグアイ=ラウンド
エ. 東京ラウンド→ウルグアイ=ラウンド→ケネディ=ラウンド

問5 下線部③に関して、WTOは自由貿易の原則の例外として緊急輸入制限措置 (セーフガード) を認めている。そこで、例えば「A国がB国からのネギの輸入急増に対して緊急輸入制限措置を発動した」のちの動きとして最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. A国におけるネギの価格が上昇するので、A国のネギ生産者の利益が保護される。
イ. A国におけるネギの価格が下落するので、A国のネギ消費者に利益をもたらす。
ウ. A国におけるネギの価格が上昇するので、B国のネギ生産者の利益が増大する。
エ. A国におけるネギの価格が下落するので、B国のネギ生産者が不利益を受ける。